

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

2024年3月期

スペースシャワーSKIYAKIホールディングス 決算説明資料

スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社

証券コード：4838

2024年5月14日

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

1. 2024年3月期 TOPICS
2. 2024年3月期 決算概要
3. 経営統合の公表・概要について
4. Appendix

- 1. 2024年3月期 TOPICS**
2. 2024年3月期 決算概要
3. 経営統合の公表・概要について
4. Appendix

主催大型ライブ・イベントの盛況

人気ロックフェス『SWEET LOVE SHOWER』、国内最大級ヒップホップフェス『POP YOURS』のチケット完売。
自治体との協力によるイベントの初開催や、企業との共同開催によるイベントの規模拡大なども実現。

SWEET LOVE SHOWER



SOLD OUT

2023年8月25日（金）～27日（日）
@ 山梨県山中湖交流プラザ きらら

- ✓ 全日程・全券種 完売の大盛況
- ✓ 3日間で合計約8万人を動員
- ✓ 総勢78組のトップアーティストが出演

水平展開

『SPACE SHOWER FRESH LOVE SHOWER』
2024年1月16日（火）
@東京ガーデンシアター

SOLD OUT

POP YOURS



SOLD OUT

2023年5月27日（土）・28日（日）
@ 幕張メッセ国際展示場9～11ホール

- ✓ 開催2年目にして国内最大級規模へ成長
- ✓ 2日間で合計約3万人を動員
- ✓ Z世代からの圧倒的支持（来場者の約80%）
（15～24歳）

水平展開

出演4組によるオリジナル楽曲『Makuhari』
ストリーミング総再生数 5,000万回以上（3月末時点）

FUKUOKA MUSIC FES. 2024



2024年1月20日（土）・21日（日）@ 福岡PayPayドーム

- ✓ 昨年度の好評を受け、初の2 Days開催
- ✓ 福岡ソフトバンクホークス / BEAMS との共同開催

GFEST. 2023



2023年10月29日（日）@ Gメッセ群馬

- ✓ 「音楽のある街」群馬県との協力により初開催

店舗ビジネスの回復・拡大

コロナ禍での制限による影響が極めて大きかったライブハウスが回復。

エンタテインメントカフェではコロナ期間中も継続した店舗拡大とインバウンド・国内需要の回復・拡大により過去最高の来店者数を記録。

ライブハウス事業 WWW・WWW X (渋谷)



- ✓ 2023年5月8日 コロナ感染症が5類へ移行
- ✓ 収容制限・距離の確保・マスク着用・声出し禁止など各種制限が段階的に緩和、撤廃される。
- ✓ 稼働率や集客数が回復、
コロナ影響からの脱却を果たす。

エンタテインメントカフェ事業 あっとほおーむカフェ (秋葉原・大阪)



- ✓ コロナ期間中も継続的な店舗拡大に着手
- ✓ 渡航制限の解除によるインバウンド需要の回復、
国内需要の増加により、過去最高の来店者数を記録。

ソリューションセグメント

グローバル市場に目を向けた施策を拡大。
人気楽曲の配信、海外人気アプリでの配信を開始。

「NetEase Cloud Music」当社取扱楽曲の配信開始



- ✓ 中国国内 Z世代に最も人気のアプリ
- ✓ 海外に向けた日本楽曲の発信に注力

人気ゲーム楽曲の配信開始



- ✓ ストリートファイター6 BGMを配信
- ✓ グローバル人気の高いIP保有企業にデジタル配信のソリューション提供

『Street Fighter 6 Original Soundtrack』
アーティスト：カプコン・サウンドチーム

メディアセグメント

視聴者ニーズの変容に合わせて、様々なジャンル・楽曲へのアプローチに注力。
新技術を活用した映像制作にも挑戦。

K-POP最大級の音楽授賞式 スペースシャワーTVで日本独占生中継



- ✓ レッドカーペット、授賞式、特別ステージなどの様子を生中継

『2023 K GLOBAL HERAT DREAM AWARDS』
2023年8月10日（木）

生成AIを活用したMV制作



- ✓ 画像生成AI「Midjourney」
- ✓ 日々進歩する技術を活用した新たな制作手法に挑戦

『有罪布告』MV
アーティスト：BLUE ENCOUNTER

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

1. 2024年3月期 TOPICS
- 2. 2024年3月期 決算概要**
3. 経営統合の公表・概要について
4. Appendix

業績サマリ

営業利益の前期比大幅増の主要因は、コロナによる制限が撤廃されたライブ・イベントの規模拡大とライブハウス事業の回復、インバウンドや国内需要の回復・拡大などにより来店者数が過去最高となったエンタテインメントカフェ事業によるもの。有料放送売上の減少、映像制作の受注本数減少による売上減少や、主にライブ・イベントの開催制限に関連し、前年度計上していた助成金収入の減少があったものの、売上・経常利益についても増加となった。

(単位：百万円)	2023年3月期	構成比	2024年3月期	構成比	前期比
売上高	15,381	100.0%	16,362	100.0%	+6.4%
営業利益	153	1.0%	618	3.8%	+302.8%
経常利益	563	3.7%	619	3.8%	+10.0%
当期純利益	348	2.3%	280	1.7%	△19.6%

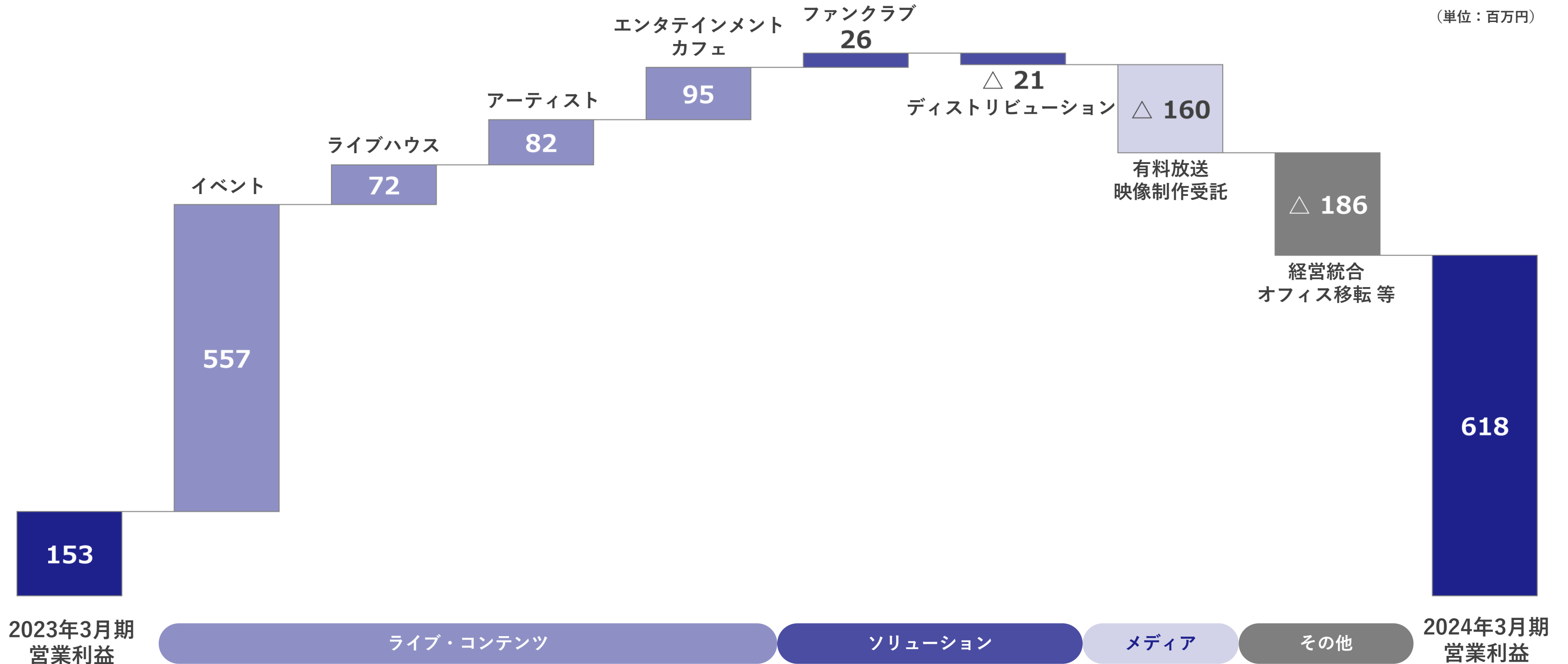
営業利益増減分析

プラス要因

主催大型ライブ・イベントや店舗ビジネスの業績拡大が全体業績を牽引

マイナス要因

有料放送収入と映像制作受注の減少、経営統合・オフィス移転に関する一時費用の計上



連結業績の回復・拡大

コロナ影響からの脱却を果たし、売上・営業利益ともに回復・拡大し、過去10年で最大の連結営業利益となる。
 経営統合・オフィス移転に関する一時費用を除く連結営業利益は、上場後最高水準に迫る約759M。

上場後最高水準に迫る連結営業利益

✓ 過去最高 連結営業利益：769M（2006年3月期）

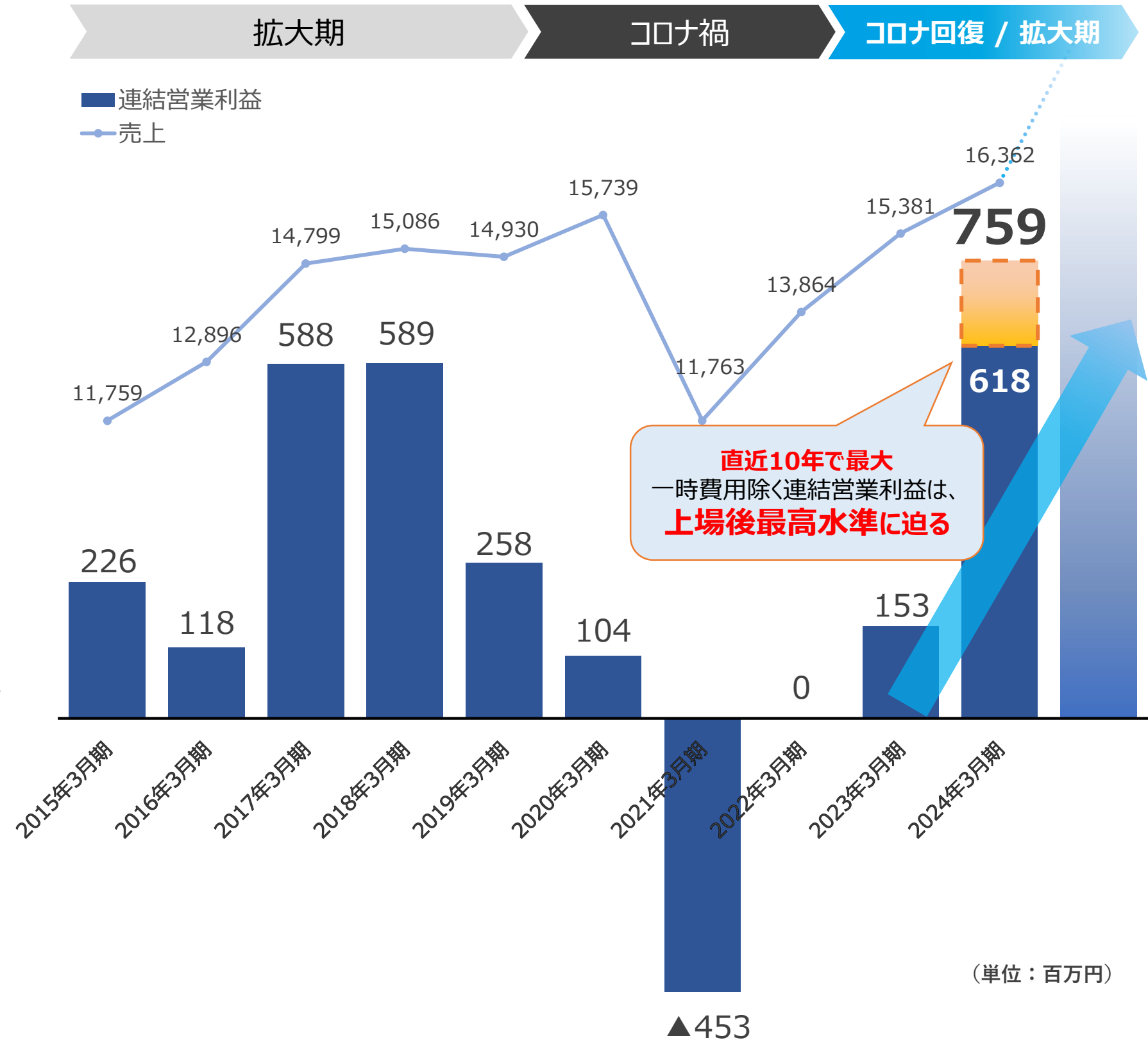
経営統合・オフィス移転による一時費用の発生

- ✓ 当社と(株)SKIYAKIとの経営統合によるシナジー形成のスピード感をもった推進を目的とする
- ✓ 現在の港区六本木から、渋谷区へ本社移転（2024年7月～9月頃）

中期経営計画「Daylight 2024」の進捗状況

✓ ライブ・イベントや店舗ビジネスが本格的な回復。概ね想定の範囲内で進捗。

※統合後「スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社」の中期経営計画については、現在経営統合効果について精査中。



<業績拡大の主要因> ①ライブ・コンテンツの回復と規模拡大



主催大型ライブ・イベントの開催規模は、コロナ以前の水準以上に回復・拡大。

『SWEET LOVE SHOWER』は全日程・全券種完売の、約8万人動員を達成。

開催2年目の『POP YOURS』は国内最大級規模へ成長。音楽シーンの新たな主要イベントのひとつとして早くも認知され、動員が拡大。当社の持つコンテンツ制作力が業績拡大に大きく貢献した。

SWEET LOVE SHOWER

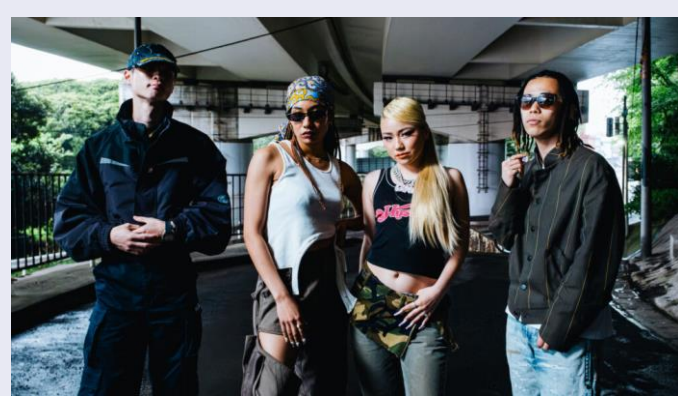
(2023年8月25日～27日 @山梨県山中湖交流プラザ きらら)

- ✓ 全日程・全券種の完売 **約8万人を動員**
- ✓ 新設エリア「ラブシャラウンジ」の販売など付加価値の向上に努め、売上拡大に貢献。
- ✓ コロナ以前と同様の5ステージ制での開催、観客声出し、イベント名物熱気球の復活。

POP YOURS

(2023年5月27日、28日 @幕張メッセ国際展示場 9～11ホール)

- ✓ 開催2年目にして**国内最大級のヒップホップフェスティバルに成長 / 約3万人を動員**
- ✓ YouTube生配信は約37万人が視聴
- ✓ 出演アーティスト4組によるオリジナル楽曲『Makuhari』に象徴される、**ヒットコンテンツを生み出すフェスティバル**として、ブランド・影響力の拡大を実現。

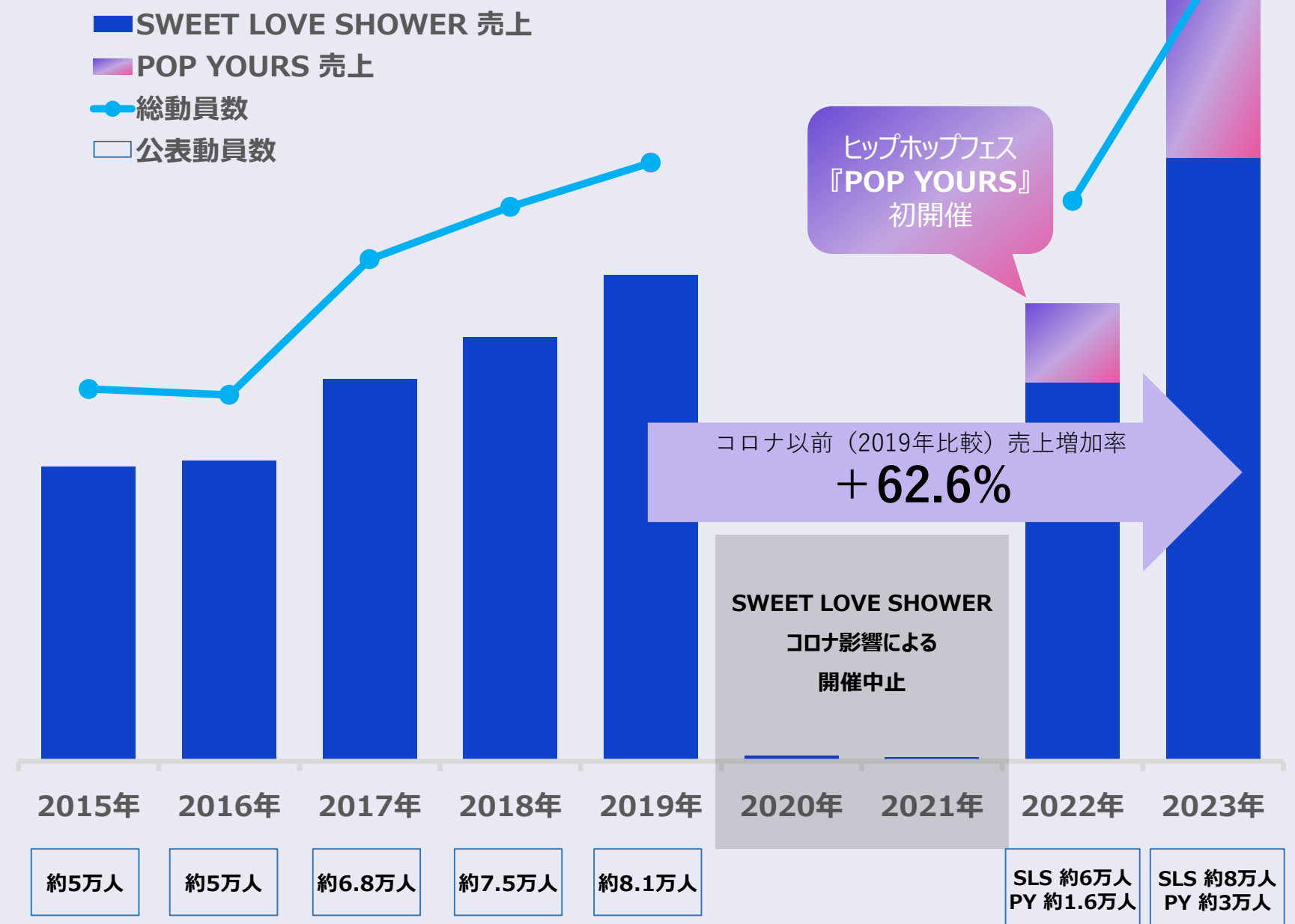


アーティスト：Bonbero , LANA , MFS , Watson



『Makuhari』
POP YOURS オリジナル楽曲
ストリーミング総再生数
5,000万回以上 (3月末時点)

【SWEET LOVE SHOWER / POP YOURS 公演実績】



<業績拡大の主要因> ②エンタテインメントカフェの継続的な成長

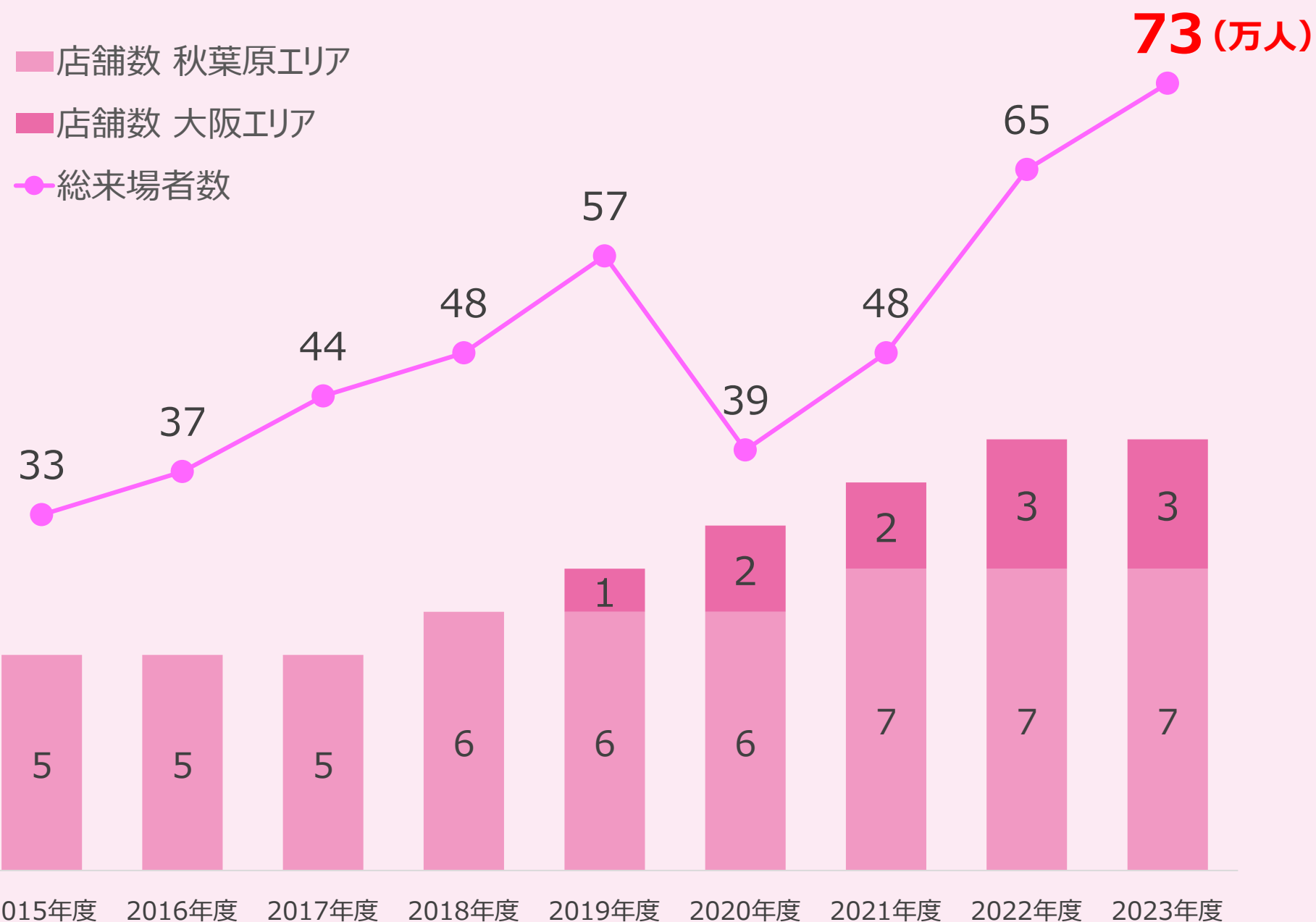


2004年秋葉原に1号店が誕生してから20年。着実にファンを増やし日本の萌え文化の代表ブランドに。

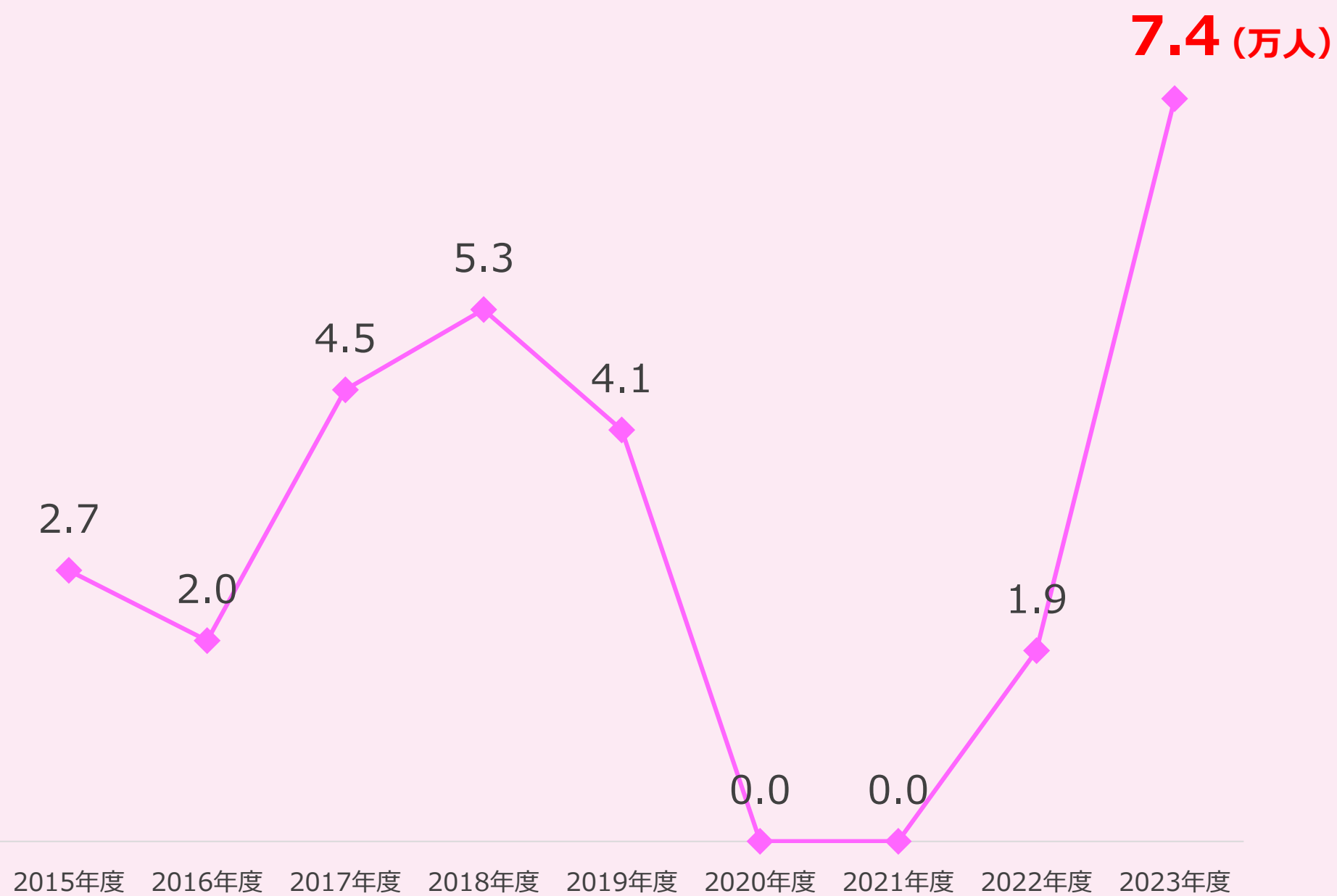
コロナ期間中にも継続的に店舗拡大に着手、顧客満足度向上の施策を行ったことで、今年度の売上高増加、過去最高の来店者数を達成。

今後も店舗開発の継続検討と、顧客満足度向上の施策検討を行い、業績拡大を目指す。

あっとほおーむカフェ 店舗数及び来店者数推移



インバウンド来店者数

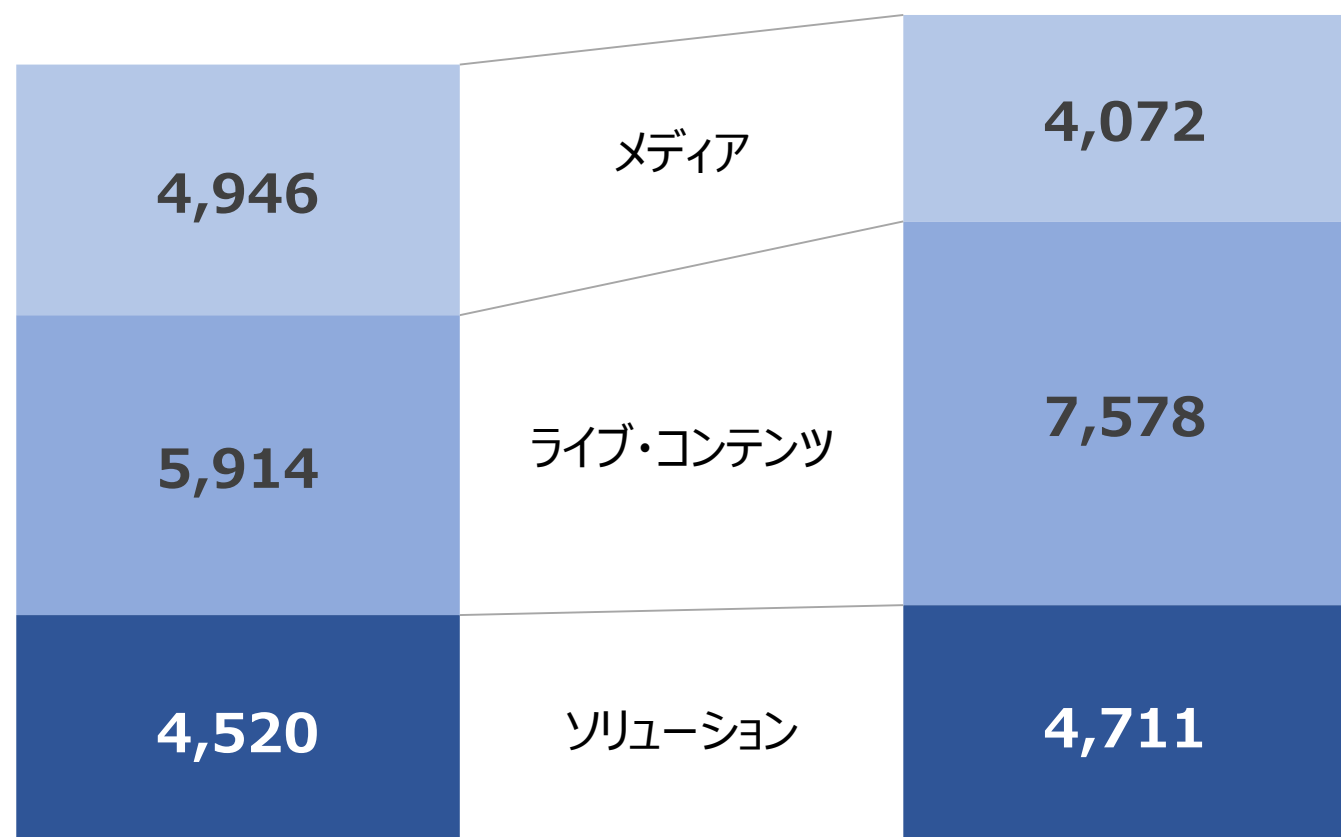


セグメント別概況

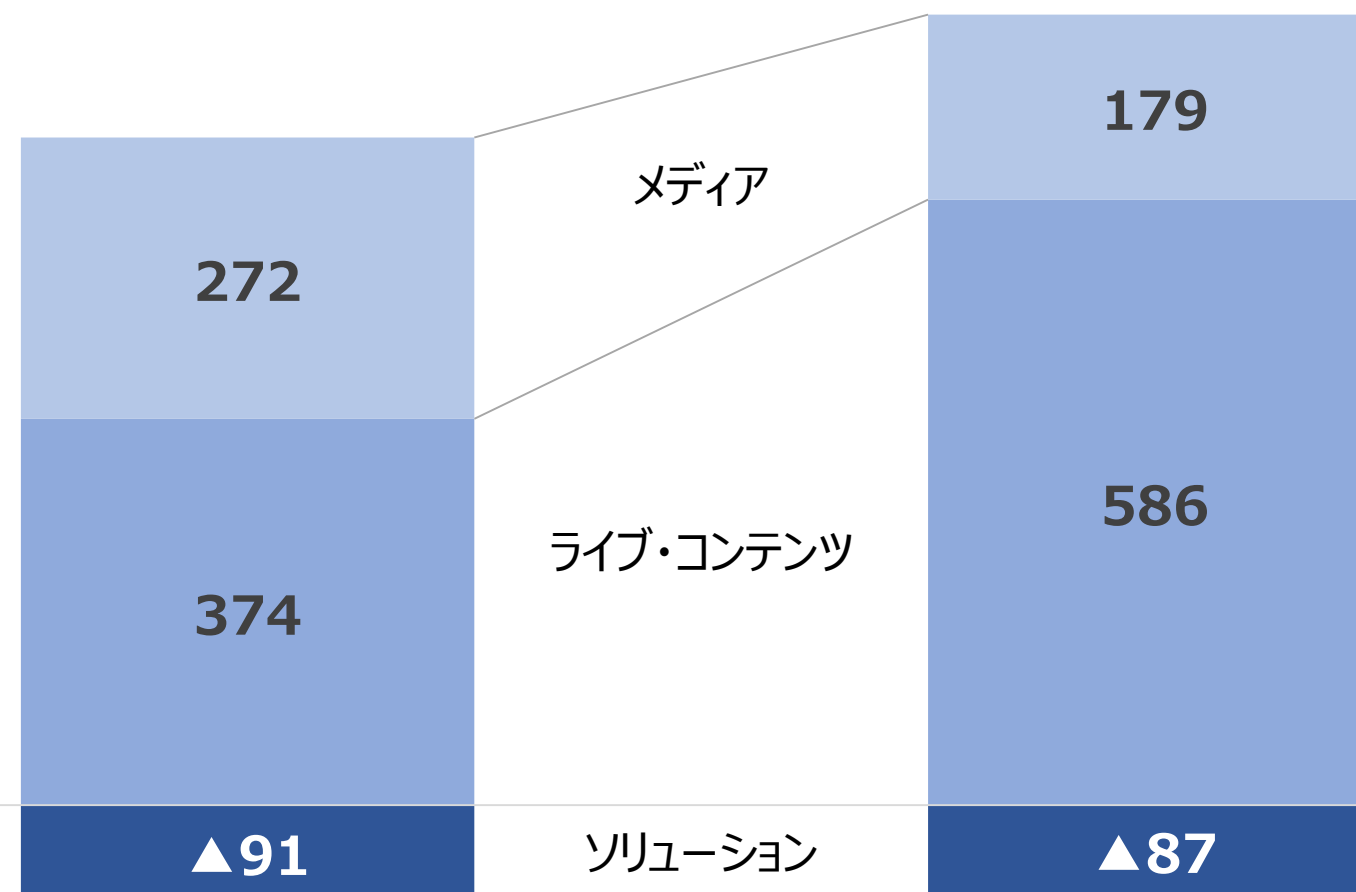
- ✓ **メディア** : 有料放送売上と、映像制作の受注本数減少により、減収減益。
- ✓ **ライブ・コンテンツ** : 店舗ビジネスの回復・拡大と、主催大型イベントのチケット完売などにより増収増益。
- ✓ **ソリューション** : ディストリビューション事業における受託ヒットアーティストの移籍があったものの、上半期好調だったデジタル配信売上、ファンクラブ事業の会員数増加、EC/MD事業の大型案件獲得などにより、増収・赤字幅縮小。

■メディア
■ライブ・コンテンツ
■ソリューション

セグメント別売上高



セグメント別利益



2023年3月期

2024年3月期

2023年3月期

2024年3月期

(単位：百万円)

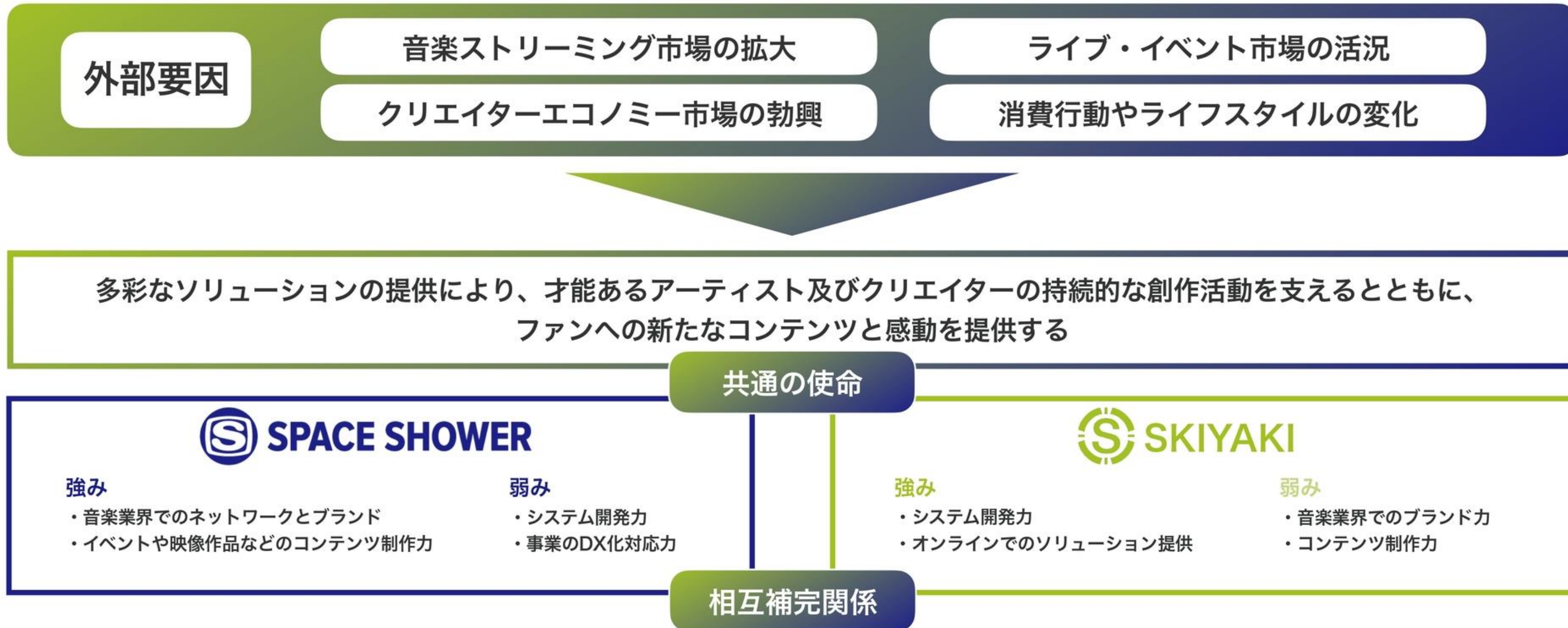
SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

1. 2024年3月期 TOPICS
2. 2024年3月期 決算概要
- 3. 経営統合の公表・概要について**
4. Appendix

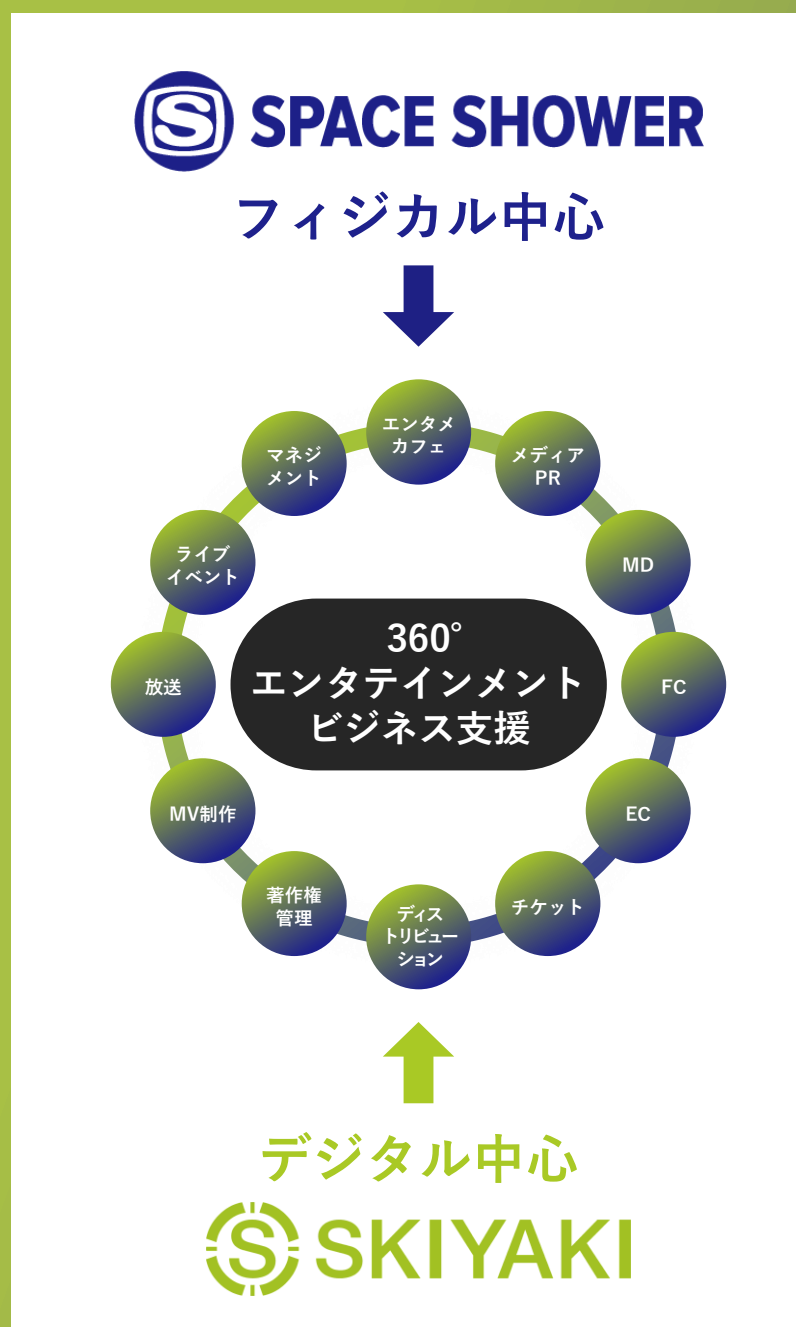


本経営統合の経緯と背景

社会・企業を取り巻く環境変化に加え、両社は、エンタテインメント業界の持続可能性のために果たすべき使命が一致すること、事業が相互補完関係にあることを認識し、本経営統合が双方の成長を加速させると判断。



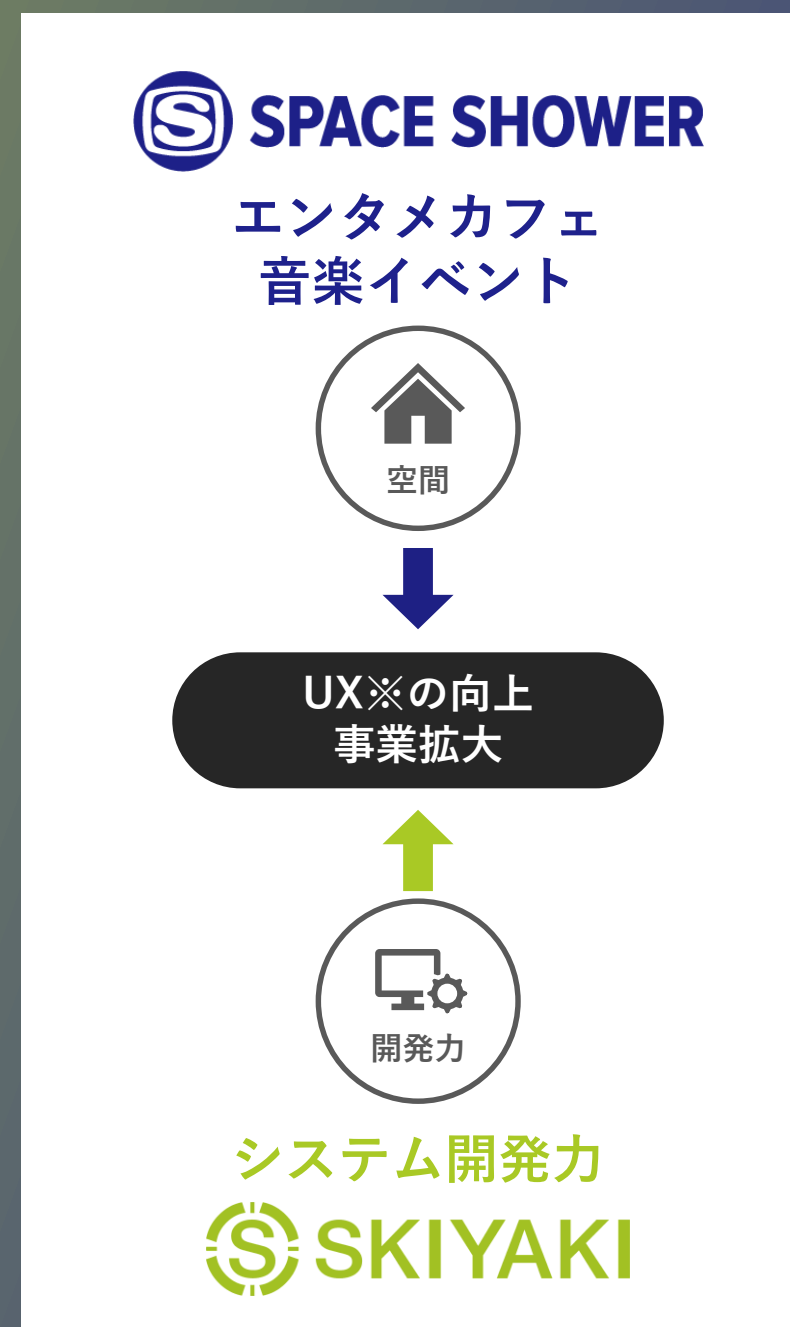
①両社の顧客への 統合的なソリューション提供



②新たなコンテンツIPと ソリューションの創造



③DX化の推進



④経営基盤の強化

SPACE SHOWER
SKIYAKI

- ✓売上高合計 : 178億円
- ✓総資産合計 : 119億円
- ✓株主資本合計 : 48億円
- スペースシャワー2023年3月期実績
SKIYAKI2023年1月期実績の単純合算による
- ✓連結従業員数 : 383名
- スペースシャワーは2023年9月末時点
SKIYAKIは2023年7月末時点

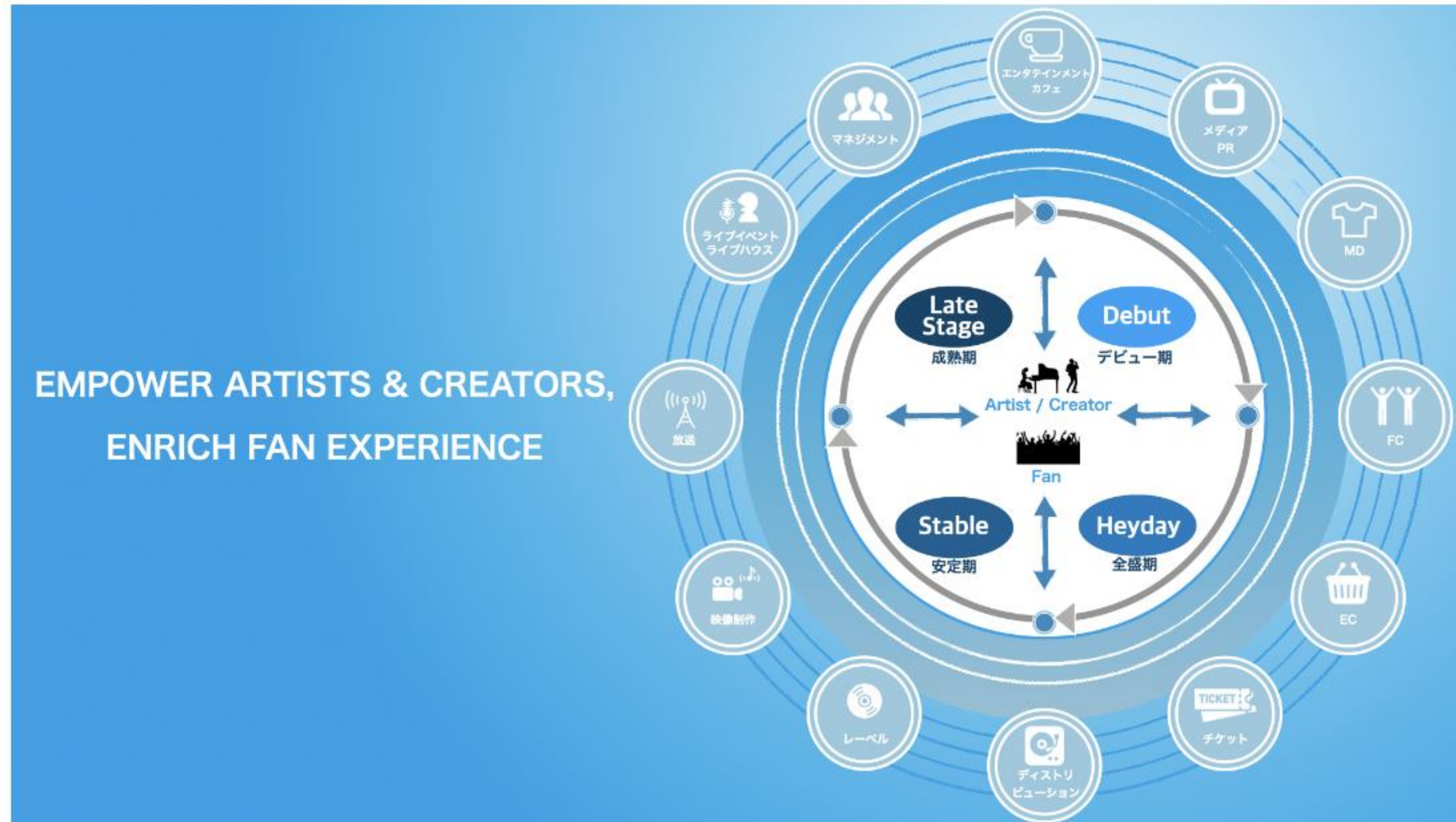
持続的成長を支えるための
強固な経営基盤を確保

※「UX」とは、User Experienceの略称で、ユーザーが商品やサービスを通じて得られる体験や、サービスの使いやすさなどの品質に関することを指します。

ホールディングスが目指す姿

ホールディングスの価値は、「コンテンツ」と「テクノロジー」の両方を有し、アーティスト・クリエイターとファンの双方に寄り添い、エンタテインメント領域における従来の慣習のDXを推進できる点。

アーティスト・クリエイターがより長く創作活動を続けていけるように、ファンがファンを続けることに喜びを感じられるように、既存のビジネスをアップデートしていくことが我々の使命だと確信しています。



SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

1. 2024年3月期 TOPICS
2. 2024年3月期 決算概要
3. 経営統合の公表・概要について
4. Appendix

会社概要

会社名	スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社 SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS INC. (英文)	所在地	東京都港区六本木3-16-35 イースト六本木ビル
設立	1996年12月24日	代表者	代表取締役共同社長 林 吉人 代表取締役共同社長 小久保 知洋
決算期	3月	主な グループ会社	株式会社スペースシャワーネットワーク 株式会社SKIYAKI 株式会社セップ インフィニア株式会社 コネクトプラス株式会社 株式会社SPACE SHOWER FUGA
資本金	100百万円		
従業員数	2024年3月末時点 157名 (単体) 238名 (連結)		

貸借対照表

	2023年3月期	2024年3月期	増減額
(単位：百万円)			
流動資産	5,346	5,419	72
固定資産	2,456	2,744	288
資産合計	7,804	8,164	360
流動負債	3,313	3,452	139
固定負債	799	770	△28
負債合計	4,112	4,222	110
純資産合計	3,691	3,941	250
負債純資産合計	7,804	8,164	360

株主還元

株主還元方針

- 成長期待領域への積極的な投資に取組み、中長期的な利益拡大による企業価値向上を目指します
- 配当方針については、従来どおり、安定的・継続的に行うことを基本方針と致します
- 業績伸長の際には、還元の充実を機動的に検討致します

年間配当金

	中間	期末	合計
2022年3月期	-	10円	10円
2023年3月期	-	10円	10円
2024年3月期	-	10円	10円

今後の見通し

株式会社スペースシャワーネットワークは、2024年4月1日付で、株式会社SKIYAKIと経営統合を行い、商号を『スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社』に変更し、持株会社体制に移行いたしました。現在、持株会社体制への移行に伴う経営統合効果について精査中であることに加え、経営統合により生じる「のれん」など、企業結合に関する会計処理方法の確定に相応の時間を要することから、次期の連結業績予想を未定としております。今後、合理的な連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示する予定です。

SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

主要なグループ会社



SPACE SHOWER SKIYAKI HOLDINGS

本資料における注意事項

本資料に掲載されている、将来の業績に関する計画、見通し、戦略等は、
現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。
従いまして、これら業績見通しのみに全面的に依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。

－ お問い合わせ窓口 －



スペースシャワーSKIYAKIホールディングス株式会社 経営企画室



ir@sssk-hd.com



<https://sssk-hd.com/>